

平成26年度 外部評価委員会

外部評価対象施策評価シート及び実施事業管理票

【施策名】

3-3-3 交通安全・防犯対策の充実

施策の名称	事業の名称	主管課等名	ページ
交通安全・防犯対策の充実			1.2
1	交通安全活動事業	協働文化推進課	3.4
2	交通安全施設整備事業	協働文化推進課	5.6
3	放置自転車対策事業	協働文化推進課	7.8
4	防犯灯整備事業	協働文化推進課	9.10
5	交番施設整備事業	協働文化推進課	11.12
6	犯罪被害者等見舞金支給事業	町民窓口課	13.14
7	防犯対策推進事業	協働文化推進課	15.16
8	防犯対策推進事業(小学校)	学校教育課	17.18
9	保護司会活動支援事業	福祉課	19.20

※ 本シートは、平成26年7月1日現在の内部評価の途中段階のものであるため、今後、内容が変更される場合があります。

平成26年度 町総合計画後期基本計画 施策進行管理・評価シート（平成25年度実施事業分）

施策名	3 — 3 — 3	交通安全・防犯対策の充実
-----	-----------	--------------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	◎町民部長 ○福祉部長/教育次長
施策関係課等名	協働文化推進課/町民窓口課/福祉課/学校教育課
シート作成者(主担当である課等の長)	協働文化推進課長
作成補助者(関係課等の長)	町民窓口課長/福祉課長/学校教育課長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章) 安心して生きがいのあるまちづくり (節) 安心して暮らせるまちづくりを充実します
----------------	---

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●町内での交通事故が減少している。 ●町内での犯罪が減少している。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●交通事故の撲滅に向けて交通安全運動を推進し、町民等の交通安全意識の高揚を図ります。 ●子どもや高齢者をはじめ、すべての人に配慮した道づくりに努めるとともに、交通安全施設の整備を進めます。 ●犯罪を未然に防止するため、町民の防犯意識の高揚を図り、まちぐるみで防犯対策の充実を図ります。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●交通安全意識の高揚 ●交通安全施設の整備 ●防犯活動の推進

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額
		妥当性	効率性	有効性	
交通安全意識の高揚	交通安全活動事業	A	A	A	4,078,789
交通安全施設の整備	交通安全施設整備事業	A	A	A	9,343,739
	放置自転車対策事業	A	A	F	4,164,300
防犯活動の推進	防犯灯整備事業	C	A	E	23,402,189
	交番施設整備事業	A	A	F	0
	犯罪被害者等見舞金支給事業	C	A	F	0
	防犯対策推進事業	C	A	E	3,739,583
	防犯対策推進事業(小学校)	C	D	C	287,983
	保護司会活動支援事業	C	A	A	83,700

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
交通安全対策の充実	18 (21)	101 (93)	104 (154)	82 (171)	137 (31)	24 (20)	466 (490)
	3.9% (4.3%)	21.7% (19.0%)	22.3% (31.4%)	17.6% (34.9%)	29.4% (6.3%)	5.2% (4.1%)	100% (100%)
防犯対策の充実	16 (16)	95 (81)	117 (131)	97 (136)	119 (107)	22 (19)	466 (490)
	3.4% (3.3%)	20.4% (16.5%)	25.1% (26.7%)	20.8% (27.8%)	25.5% (21.8%)	4.7% (3.9%)	100% (100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
交通事故件数	件	317	208	289	289
刑法犯罪件数	件	549	573	501	501

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p> <input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない </p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <p>交通安全・防犯対策の充実について、交通安全活動事業、防犯対策推進事業など、9事業を実施し、施策は推進され、ほぼ、成果はあがっているが、効果指標の設定に無理があるため、防犯灯整備事業及び防犯対策推進事業については、目標指標を下回った。今後、事業効果指標の見直しが必要である。</p>
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p>

町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者(課等の長)	田中弘文		田中弘文						
担当課等名	防災安全課		協働文化推進課						
シート作成者	石川誠二	石川誠二	石川誠二						

事業名	交通安全活動事業
------------	-----------------

後期基本計画掲載状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無								
後期基本計画(章)	安心して生きがいのあるまちづくり	実施計画コード	3331-01						
後期基本計画(節)	安心して暮らせるまちづくりを充実します	予算科目コード	01	02	01	11	060	002	002
後期基本計画(項)	交通安全・防犯対策の充実	予算区分	政策・一般						

2. 事業内容

現状把握	
交通指導員により1日・15日の街頭指導、各種キャンペーン活動、毎週月曜日の広報活動及び各小学校での交通安全教室を実施。 高齢者交通安全教室の実施。 新入学児童へ黄色い帽子を配付している。	
課題整理	
交通事故の撲滅には粘り強く継続的に交通安全に対しての意識付けが必要。	
事業目的	
交通安全についての意識の高揚を粘り強く図っていくことにより交通事故の削減に努める。	
事業概要	
町民の交通安全意識の高揚を図るために、各種交通安全キャンペーンや広報活動等を継続的に行い、特に小学生の時から交通安全に対する意識を習慣づけるとともに、高齢者の交通安全対策を図り交通事故を減少させる。	
根拠法令等	寒川町交通指導員に関する規則

3. 事業計画及び実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	●	●	●	●	●	●	●	●	●
事業目標	交通安全教室の開催数(回)				年度	H24	H25	H26	計
					計画値	5	5	5	
					実績値	5	5		
					年度	H27	H28	H29	計
					計画値	6	6	6	
					実績値				
					年度	H30	H31	H32	計
					計画値	6	6	6	
					実績値				
事業効果	交通事故件数(件)				年度	H24	H25	H26	計
	前年交通事故件数より毎年3%づつ減少させる。				計画値	307	298	289	
	3%(19年から21年の減少率平均)				実績値	287	208		
	※平成27年度以降の計画値はH23～H25の平均事故件数261.6件を基準とする。				年度	H27	H28	H29	計
					計画値	260	250	240	
					実績値				
					年度	H30	H31	H32	計
					計画値	230	220	210	
					実績値				

4-1. 評価

(1) 前年度に「4-2. 改善」欄に記入した内容に関する実施状況

H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》
H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》

(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】

- 《評価のポイント》
- * 町が実施すべき事業か
 - * 町が実施しない場合の影響は
 - * 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は
 - * 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	交通安全対策基本法第4条に地方公共団体の責務として、住民の生命、財産を保護するため、その区域における交通安全に関し、国の施策に準じて当該区域の実情に応じた施策を実施するとあることから、地域や関係団体等と連携して、交通事故の撲滅を目指し交通安全対策を進めていかなければならない。
	<input type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必然性が低い ため、改善が必要である	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではない ため、改善が必要である	

(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】

- 《評価のポイント》
- * 事業は効率的に行われているか
 - * コストの節減
 - * 実施手法の改善
 - * 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 適切である	交通安全教室の実施や交通安全啓発活動を交通指導員を活用して行っている。
	<input type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善 する必要がある	

(4) 有効性【事業の達成度はどうか】

年度	評価区分	* 評価区分の別			
		区分	事業効果指標 の達成状況	事業目標指標 の達成状況	分析内容
H24	A				
H25	A				
H26		A	指標の80%以上 を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H27		B		指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H28					
H29		C		指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H30		D	指標の80%を 達成していない		効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H31		E		指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H32		F			その他特別な事情があるもの。
		Z			未着手

 ※ (2) (3) (4) の評価区分がD～Zの場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと

4-2. 改善

H○	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》

5. 財源

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
	4,617,762	4,078,789	4,672,000						
財源内訳									
分担金及び負担金	0	0	0						
使用料及び手数料	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0						
県支出金	0	0	0						
財産収入	0	0	0						
寄附金	0	0	0						
繰入金	0	0	0						
諸収入	0	0	0						
町債	0	0	0						
一般財源	4,617,762	4,078,789	4,672,000						

町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者（課等の長）	田中弘文		田中弘文						
担当課等名	防災安全課			協働文化推進課					
シート作成者	石川誠二	石川誠二	竹内智洋						

事業名	交通安全施設整備事業
------------	-------------------

後期基本計画記載状況	(有)・無								
後期基本計画（章）	安心して生きがいのあるまちづくり	実施計画コード	3332-01						
後期基本計画（節）	安心して暮らせるまちづくりを充実します	予算科目コード	01	02	01	11	060	002	001
後期基本計画（項）	交通安全・防犯対策の充実	予算区分	(政策)・一般						

2. 事業内容

現状把握	各駅駐輪場用地の借り上げや、通勤通学時間帯の場内整理を行っている。
課題整理	駐輪場内における無秩序な駐輪。
事業目的	各駅利用者の駐車スペースの確保。
事業概要	慢性的な放置を 방지 駐車スペースを確保するため、駐輪場内を整理する。
根拠法令等	

3. 事業計画 及び 実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	●	●	●	●	●	●	●	●	●
事業目標									
【H24】 破損した道路反射鏡の修繕及び地域からの新規設置要望に対する整備率（%）	年度	H24	H25	H26	計				
	計画値	100%	8	8					
	実績値	100%	8						
【H25～】 寒川駅、宮山駅、倉見駅において、確保する駐輪場数。	年度	H27	H28	H29	計				
	計画値	8	8	8					
	実績値								
【H30～】 寒川駅、宮山駅、倉見駅の各3駅の駐輪場確保率（%）	年度	H30	H31	H32	計				
	計画値	8	8	8					
	実績値								
事業効果									
【H24】 交通事故件数（件） ※前年交通事故件数より毎年3%づつ減少させる。 3%（19年から21年の減少率平均）	年度	H24	H25	H26	計				
	計画値	307	100%	100%					
	実績値	287	100%						
【H25～】 寒川駅、宮山駅、倉見駅の各3駅の駐輪場確保率（%）	年度	H27	H28	H29	計				
	計画値	100%	100%	100%					
	実績値								
【H30～】 寒川駅、宮山駅、倉見駅の各3駅の駐輪場確保率（%）	年度	H30	H31	H32	計				
	計画値	100%	100%	100%					
	実績値								

4-1. 評価

(1) 前年度に「4-2. 改善」欄に記入した内容に関する実施状況

H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》
H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》

(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】

- 《評価のポイント》 * 町が実施すべき事業か
 * 町が実施しない場合の影響は
 * 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は
 * 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	駐輪場の確保および管理によって駅周辺の環境整備をすることは、まちづくりの一環であるため。
	<input type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必然性が低い ため、改善が必要である	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではない ため、改善が必要である	

(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】

- 《評価のポイント》 * 事業は効率的に行われているか
 * コストの節減
 * 実施手法の改善
 * 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 適切である	町所有の駐輪場用地以外の駐輪場については、土地所有者の理解を得られるよう対話を行い、契約している。
	<input type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善 する必要がある	

(4) 有効性【事業の達成度はどうか】

年度	評価区分	* 評価区分の別			
		区分	事業効果指標 の達成状況	事業目標指標 の達成状況	分析内容
H24	A				
H25	A				
H26		A	指標の80%以上 を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H27		B		指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H28					
H29		C		指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H30		D	指標の80%を 達成していない		効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H31		E		指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H32		F			その他特別な事情があるもの。
		Z			未着手

➡ **※ (2) (3) (4) の評価区分がD～Zの場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと**

4-2. 改善

H○	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》
H○	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》

5. 財源

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
財源内訳	12,898,000	9,343,739	9,367,000						
分担金及び負担金	0	0	0						
使用料及び手数料	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0						
県支出金	0	0	0						
財産収入	0	0	0						
寄附金	0	0	0						
繰入金	0	0	0						
諸収入	0	0	0						
町債	0	0	0						
一般財源	12,898,000	9,343,739	9,367,000						

※平成25年度から道路反射鏡の設置や維持管理を道路課に移管しました。

町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者(課等の長)	田中弘文		田中弘文						
担当課等名			協働文化推進課						
シート作成者		石川誠二	石川誠二						

事業名	放置自転車対策事業
------------	------------------

後期基本計画登載状況	有 無								
後期基本計画(章)	安心で生きがいのあるまちづくり	実施計画コード	3332-03						
後期基本計画(節)	安心して暮らせるまちづくりを充実します	予算科目コード	01	02	01	11	060	002	003
後期基本計画(項)	交通安全・防犯対策の充実	予算区分	政策 一般						

2. 事業内容

現状把握	週1回、放置禁止区域内を巡回し啓発・指導を行う。放置禁止区域内に放置されている自転車等はその日に移動する。また、区域以外の道路等においても引き続き7日以上放置されている場合は移動する。
課題整理	自転車等の放置防止には、継続的な注意喚起と自転車利用者等への意識付けが必要。
事業目的	無秩序に駐車される自転車等を撤去することにより、道路、歩道等の安全で円滑な通行と緊急時の活動の場の確保を図る。
事業概要	放置禁止区域及び放置禁止区域外に放置してある自転車等については、「寒川町自転車等の放置防止に関する条例」に基づき、保管所へ移動させる。
根拠法令等	

3. 事業計画 及び 実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																																								
年度		●	●	●	●	●	●	●	●																																																								
事業目標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【H26】 放置禁止区域の巡回数(回)</td> <td>計画値</td> <td>—</td> <td>63</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【H27から変更予定】 放置自転車の撤去回数(回)</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td></td> <td>計画値</td> <td>63</td> <td>63</td> <td>63</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td></td> <td>計画値</td> <td>63</td> <td>63</td> <td>63</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									年度	H24	H25	H26	計	【H26】 放置禁止区域の巡回数(回)	計画値	—	63		【H27から変更予定】 放置自転車の撤去回数(回)	実績値	—				年度	H27	H28	H29	計		計画値	63	63	63			実績値						年度	H30	H31	H32	計		計画値	63	63	63			実績値									
年度	H24	H25	H26	計																																																													
【H26】 放置禁止区域の巡回数(回)	計画値	—	63																																																														
【H27から変更予定】 放置自転車の撤去回数(回)	実績値	—																																																															
	年度	H27	H28	H29	計																																																												
	計画値	63	63	63																																																													
	実績値																																																																
	年度	H30	H31	H32	計																																																												
	計画値	63	63	63																																																													
	実績値																																																																
事業効果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【H26】 放置自転車の撤去回数(回)</td> <td>計画値</td> <td>—</td> <td>63</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【H27から変更予定】 町内道路・各駅自転車駐車場の放置自転車台数(台)</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年より10台減少させる</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td></td> <td>計画値</td> <td>420</td> <td>410</td> <td>400</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td></td> <td>計画値</td> <td>390</td> <td>380</td> <td>370</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									年度	H24	H25	H26	計	【H26】 放置自転車の撤去回数(回)	計画値	—	63		【H27から変更予定】 町内道路・各駅自転車駐車場の放置自転車台数(台)	実績値	—			前年より10台減少させる						年度	H27	H28	H29	計		計画値	420	410	400			実績値						年度	H30	H31	H32	計		計画値	390	380	370			実績値				
年度	H24	H25	H26	計																																																													
【H26】 放置自転車の撤去回数(回)	計画値	—	63																																																														
【H27から変更予定】 町内道路・各駅自転車駐車場の放置自転車台数(台)	実績値	—																																																															
前年より10台減少させる																																																																	
	年度	H27	H28	H29	計																																																												
	計画値	420	410	400																																																													
	実績値																																																																
	年度	H30	H31	H32	計																																																												
	計画値	390	380	370																																																													
	実績値																																																																

4-1. 評価

(1) 前年度に『4-2. 改善』欄に記入した内容に関する実施状況

HO	《「4-2. 改善」欄のHO年度の記載内容に関する実施状況》
HO	《「4-2. 改善」欄のHO年度の記載内容に関する実施状況》

(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】

- 《評価のポイント》
- * 町が実施すべき事業か
 - * 町が実施しない場合の影響は
 - * 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は
 - * 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	安心安全のまちづくりのためには、交通という点では違法な駐車自転車の取り締まりが必要であり、また防犯という点でも盗難により放置されている自転車を把握・管理・返却をしていく必要がある。
	<input type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必然性が低い ため、改善が必要である	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではない ため、改善が必要である	

(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】

- 《評価のポイント》
- * 事業は効率的に行われているか
 - * コストの節減
 - * 実施手法の改善
 - * 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 適切である	放置禁止区域内の巡回による啓発・指導については、放置自転車等の状況に応じたこまやかな対応をする。
	<input type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善 する必要がある	

(4) 有効性【事業の達成度はどうか】

年度	評価区分	* 評価区分の別			
年度	評価区分	区分	事業効果指標 の達成状況	事業目標指標 の達成状況	分析内容
H24	F				
H25		A	指標の80%以上 を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H26		B		指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H27		C		指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H28		D	指標の80%を 達成していない	指標を達成	効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H29		E		指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H30		F			その他特別な事情があるもの。
H31		Z			未着手
H32					

 ※ (2) (3) (4) の評価区分が D～Z の場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと

4-2. 改善

H25	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》 寒川町自転車等放置防止に関する条例の施行が平成26年4月1日からであるため。
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》 平成26年度より評価していく。
H30	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》

5. 財源

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
財源内訳		4,164,300	1,619,000						
分担金及び負担金		0	0						
使用料及び手数料		0	0						
国庫支出金		0	0						
県支出金		0	0						
財産収入		0	0						
寄附金		0	0						
繰入金		0	0						
諸収入		0	0						
町債		0	0						
一般財源		4,164,300	1,619,000						

町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者(課等の長)	田中弘文		田中弘文						
担当課等名	防災安全課		協働文化推進課						
シート作成者	石川誠二	石川誠二	竹内智洋						

事業名	防犯灯整備事業
------------	----------------

後期基本計画登載状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無								
後期基本計画(章)	安心して生きがいのあるまちづくり	実施計画コード	3333-01						
後期基本計画(節)	安心して暮らせるまちづくりを充実します	予算科目コード	01	02	01	11	060	003	002
後期基本計画(項)	交通安全・防犯対策の充実	予算区分	<input checked="" type="radio"/> 政策・一般						

2. 事業内容

現状把握	
光熱費・CO ₂ 及び維持管理費の削減を目的とし、既存の防犯灯のLED化を実施するとともに、地域からの新設要望については、必要性を判断して整備を行い、夜間の犯罪などの抑止に努めている。	
課題整理	
犯罪などの抑止につながるよう自治会から設置要望を集約しているが、すべての要望に必ずしも応えきれていない。	
事業目的	
夜間における犯罪などを防止し、生活環境の安全確保を図る。	
事業概要	
夜間の犯罪などの抑止が図られ安心なまちづくりを推進するため、防犯灯の維持管理及び必要に応じた防犯灯の新設を行う。	
根拠法令等	寒川町防犯灯設置管理要綱

3. 事業計画及び実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
事業目標					年度	H24	H25	H26	計			
【H24～H26】 地域からの防犯灯の維持管理や新規設置要望に対する整備率(%)					計画値	100%	100%	100%				
					実績値	80%	83%					
【H27から変更予定】 防犯灯の新規設置数(基)					年度	H27	H28	H29	計			
					計画値	20	20	20				
								年度	H30	H31	H32	計
								計画値	20	20	20	
								実績値				
事業効果					年度	H24	H25	H26	計			
【H24～H26】犯罪件数(件) 前年犯罪件数より毎年3%づつ減少させる。 3%(19年から21年の減少率平均)					計画値	533	517	501				
					実績値	471	573					
【H27から変更予定】侵入盗件数(件) 平成25年の侵入盗の合計件数(60件)を基準とし、前年犯罪件数より毎年3%づつ減少させる。3%(19年から21年の減少率平均)					年度	H27	H28	H29	計			
					計画値	58	56	54				
								年度	H30	H31	H32	計
								計画値	52	50	48	
								実績値				

4-1. 評価

(1) 前年度に「4-2. 改善」欄に記入した内容に関する実施状況

H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》
H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》

(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】

- 《評価のポイント》
- * 町が実施すべき事業か
 - * 町が実施しない場合の影響は
 - * 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は
 - * 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	夜間における犯罪の抑止や安全の確保に努めることは、安心安全のまちづくりのひとつである。防犯灯は公共性が高く、町内全域にわたり整備されていることから、夜間の犯罪を起こさせない環境づくりに役だっているため。
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必然性が低い ため、改善が必要である	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではない ため、改善が必要である	

(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】

- 《評価のポイント》
- * 事業は効率的に行われているか
 - * コストの節減
 - * 実施手法の改善
 - * 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 適切である	防犯灯設置管理要綱に従い、各自治会の設置要望に対して、現地確認した上で優先順位、設置要望の妥当性を判断し、適切に対応している。また、今後、防犯灯のLED化に伴い電気料については、平成25年度予算現額と比較すると500万円ほどの削減が見込まれる。
	<input type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善 する必要がある	

(4) 有効性【事業の達成度はどうか】

年度	評価区分	* 評価区分の別			
年度	評価区分	区分	事業効果指標 の達成状況	事業目標指標 の達成状況	分析内容
H24	A	A	指標の80%以上 を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H25	E	B	指標の80%以上 を達成している	指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H26		C	指標の80%を 達成していない	指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H27		D	指標の80%を 達成していない	指標を未達成	効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H28		E	指標の80%を 達成していない	指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H29		F			その他特別な事情があるもの。
H30		Z			未着手
H31					
H32					

➡ **※ (2) (3) (4) の評価区分がD～Zの場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと**

4-2. 改善

H25	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》 事業効果の計画値を犯罪件数全体から防犯灯に関係する犯罪に絞り込む必要がある。
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》 茅ヶ崎警察署及び自治会と連携しながら、設置箇所を精査して有効的な設置を行い、犯罪などの抑止を図る。
H30	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》

5. 財源

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
財源内訳	18,765,848	23,402,189	16,331,000						
分担金及び負担金	0	0	0						
使用料及び手数料	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0						
県支出金	0	0	0						
財産収入	0	0	0						
寄附金	0	0	0						
繰入金	0	0	0						
諸収入	0	0	0						
町債	0	0	0						
一般財源	18,765,848	23,402,189	16,331,000						

町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者(課等の長)	田中弘文		田中弘文						
担当課等名	防災安全課		協働文化推進課						
シート作成者	石川誠二	石川誠二	石川誠二						

事業名	交番施設整備事業
------------	-----------------

後期基本計画掲載状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無		
後期基本計画(章)	安心して生きがいのあるまちづくり	実施計画コード	3333-02
後期基本計画(節)	安心して暮らせるまちづくりを充実します	予算科目コード	
後期基本計画(項)	交通安全・防犯対策の充実	予算区分	<input checked="" type="radio"/> 政策・一般

2. 事業内容

現状把握
寒川駅北口交番は中心市街地活性化基本計画に位置づけられているが、寒川駅北口整備が進むなか、交番設置に向けた茅ヶ崎警察署との調整は進んでいない状況。今後、まずは警察が設置検討に当たっての前提とする要望書の提出を行っていく予定。また、町村会を通じて平成17年度までは交番設置要望を県へ出していた。
課題整理
寒川駅北口の交番設置に対する茅ヶ崎警察署の認識は低く、まずは、交番設置に向けた調整を進め、地道な要望活動により交番設置の必要性について、認識を高めて行かなければならない。
事業目的
町の玄関口としての役割を担う寒川駅北口地区への交番設置により、安心安全なまちづくりを推進する。
事業概要
防犯意識の向上、交通安全、治安維持の確保のため、交番の設置に向けた取り組みを行う。
根拠法令等

3. 事業計画及び実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
事業目標	年度	H24	H25	H26	計				
交番設置に向けた要望等取り組み	計画値	●	●	●					
	実績値	●	●						
	年度	H27	H28	H29	計				
	計画値	●	●	●					
	実績値								
	年度	H30	H31	H32	計				
計画値	—	—	—						
実績値									
事業効果	年度	H24	H25	H26	計				
交番の設置	計画値	—	—	—					
	実績値								
	年度	H27	H28	H29	計				
	計画値	—	—	●					
	実績値								
	年度	H30	H31	H32	計				
計画値	—	—	—						
実績値									

4-1. 評価

(1) 前年度に「4-2. 改善」欄に記入した内容に関する実施状況

H25	《「4-2. 改善」欄のH24年度の記載内容に関する実施状況》 交番設置の可能性について協議を行った。
H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》

(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】

- 《評価のポイント》
- * 町が実施すべき事業か
 - * 町が実施しない場合の影響は
 - * 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は
 - * 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	交番設置に向けた警察との協議を進めるとともに、関係する地域への説明をしなければならない。
	<input type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必然性が低い ため、改善が必要である	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではない ため、改善が必要である	

(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】

- 《評価のポイント》
- * 事業は効率的に行われているか
 - * コストの節減
 - * 実施手法の改善
 - * 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 適切である	神奈川県警察本部、茅ヶ崎警察署と設置に向けた協議を進めている。
	<input type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善 する必要がある	

(4) 有効性【事業の達成度はどうか】

年度	評価区分	* 評価区分の別			
年度	評価区分	区分	事業効果指標 の達成状況	事業目標指標 の達成状況	分析内容
H24	F				
H25	F				
H26		A	指標の80%以上 を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H27		B		指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H28		C		指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H29		D	指標の80%を 達成していない	指標を達成	効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H30		E		指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H31		F			その他特別な事情があるもの。
H32		Z			未着手

 ※ (2) (3) (4) の評価区分がD～Zの場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと

4-2. 改善

H24	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》 茅ヶ崎警察署を通じて、県警本部に設置要望を行っているが、新設は難しい状況である。
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》 引き続き要望していく。
H25	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》 新設以外の設置方法を検討する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》 県警本部では、既存交番の移設であれば可能性があるとのことから話し合いを継続する。

5. 財源

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
財源内訳									
分担金及び負担金									
使用料及び手数料									
国庫支出金									
県支出金									
財産収入									
寄附金									
繰入金									
諸収入									
町債									
一般財源									

町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者(課等の長)	中嶋利弥		中嶋利弥						
担当課等名	福祉課	町民窓口課							
シート作成者	渡辺和宏	山口真人	山口真人						

事業名	犯罪被害者等見舞金支給事業
------------	----------------------

後期基本計画記載状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無								
後期基本計画(章)	安心して生きがいのあるまちづくり	実施計画コード	3333-03						
後期基本計画(節)	安心して暮らせるまちづくりを充実します	予算科目コード	01	02	01	13	070	002	001
後期基本計画(項)	交通安全・防犯対策の充実	予算区分	政策・一般						

2. 事業内容

現状把握	平成15年度施行以来実績なし。
課題整理	制度周知は行っているが、規定上、生命または身体を害する犯罪によって死亡または傷害を受けた場合が対象であり、限定的であるため制度の利用には至らないものと思われる。
事業目的	犯罪被害に遭った町民及びその遺族の精神的被害の軽減を図る。
事業概要	自らの責めに帰すべき事情がないにもかかわらず、人の生命又は身体を害する犯罪行為により、不慮の死を遂げた町民の遺族又は傷害を受けた町民を支援することにより、その精神的被害の軽減を図る。
根拠法令等	寒川町犯罪被害者等支援条例・施行規則

3. 事業計画及び実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
事業目標	年度 H24 H25 H26 計								
制度周知(回)	計画値	2	2	2					
	実績値	2	2						
	年度	H27	H28	H29	計				
	計画値	2	2	2					
	実績値								
	年度	H30	H31	H32	計				
計画値	2	2	2						
実績値									
事業効果	年度 H24 H25 H26 計								
見舞金支給率(%)	計画値	100	100	100					
	実績値	—	—						
	年度	H27	H28	H29	計				
	計画値	100	100	100					
	実績値								
	年度	H30	H31	H32	計				
計画値	100	100	100						
実績値									

4-1. 評価

(1) 前年度に「4-2. 改善」欄に記入した内容に関する実施状況

H25	《「4-2. 改善」欄のH24年度の記載内容に関する実施状況》 制度周知は可能な範囲で行っているが、被害発生後の申請に基づき適用される制度のため、発生前では具体性に乏しく、また、支援金の支給を主な目的とした制度であることから、情報交換等以外の支援センターとの連携の方策を見出すことは難しい。
H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》

(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】

- 《評価のポイント》
- * 町が実施すべき事業か
 - * 町が実施しない場合の影響は
 - * 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は
 - * 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	町の条例では犯罪による死亡者遺族または傷害を受けた者に限り金銭支援を行う形になっている。 神奈川県 <small>の</small> 犯罪被害者等支援条例は対象の範囲が広く、相談や生活資金貸付などの支援は県が設置した「 <small>かながわ</small> 犯罪被害者サポートステーション」で行っているが、金銭支援は貸付以外に行っていないため町の制度は必要と思われる。
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必然性が低い ため、改善が必要である	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではない ため、改善が必要である	

(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】

- 《評価のポイント》
- * 事業は効率的に行われているか
 - * コストの節減
 - * 実施手法の改善
 - * 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 適切である	申請がないため効果を量ることが難しい。
	<input type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善 する必要がある	

(4) 有効性【事業の達成度はどうか】

年度	評価区分	* 評価区分の別			
年度	評価区分	区分	事業効果指標 の達成状況	事業目標指標 の達成状況	分析内容
H24	F				
H25	F				
H26		A	指標の80%以上 を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H27		B		指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H28					
H29		C		指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H30		D	指標の80%を 達成していない		効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H31		E		指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H32		F			その他特別な事情があるもの。
		Z			未着手

➡ ※ (2) (3) (4) の評価区分がD～Zの場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと

4-2. 改善

H24	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》 申請件数は0件だが、犯罪の種類によっては被害者自身が申請にためらう場合もある。
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》 犯罪被害者支援センターなどと連携を深めていき、犯罪発生時に対応できるようにする。
H25	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》 制度周知は行っているが、規定上、生命または身体を害する犯罪によって死亡または傷害を受けた 場合が対象であり、限定的であるため制度の利用には至らないものと思われる。
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》 周知の工夫により当面は継続するが、将来的に休止または廃止を視野に検討する。

5. 財源

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
	0	0	100,000						
財源内訳									
分担金及び負担金	0	0	0						
使用料及び手数料	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0						
県支出金	0	0	0						
財産収入	0	0	0						
寄附金	0	0	0						
繰入金	0	0	0						
諸収入	0	0	0						
町債	0	0	0						
一般財源	0	0	100,000						

町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者(課等の長)	田中弘文		田中弘文						
担当課等名	防災安全課		協働文化推進課						
シート作成者	石川誠二	石川誠二	竹内智洋						

事業名	防犯対策推進事業
------------	-----------------

後期基本計画登載状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無								
後期基本計画(章)	安心で生きがいのあるまちづくり	実施計画コード	3333-04						
後期基本計画(節)	安心して暮らせるまちづくりを充実します	予算科目コード	01	02	01	11	060	003	001
後期基本計画(項)	交通安全・防犯対策の充実	予算区分	政策・一般						

2. 事業内容

現状把握	防犯アドバイザーによる講話の実施及び防犯パトロール車によるパトロールを行っている。また、地域、団体、警察との連携を図りキャンペーン等を行い防犯意識の向上に努めている。
課題整理	犯罪抑止のために、粘り強く町民の防犯意識の高揚を促していく必要がある。
事業目的	地域、団体、警察等と連携を図りながら町民の防犯意識の高揚を促し、犯罪の防止を図る。
事業概要	地域防犯パトロール活動の拠点として、寒川町防犯連絡所を活用するとともに、犯罪や悪質ないたづら等の変化する治安情勢に対応するため、防犯アドバイザーによる防犯パトロールや防犯講話を実施する。また、犯罪抑止を図るため、防犯に対する意識啓発を行う。
根拠法令等	

3. 事業計画及び実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
事業目標					年度	H24	H25	H26	計
【H24～H26】 防犯アドバイザーによる講話、講習会実施回数(回) 【H27から変更予定】 防犯意識の啓発回数(回)	計画値				12	12	12		
	実績値				3	10			
	年度				H27	H28	H29	計	
	計画値				10	10	10		
	実績値								
	年度				H30	H31	H32	計	
計画値				10	10	10			
実績値									
事業効果					年度	H24	H25	H26	計
【H24～H26】犯罪件数(件) 前年犯罪件数より毎年3%づつ減少させる。 3%(19年から21年の減少率平均) 【H27から変更予定】空き巣及び自転車盗の合計件数(件) 平成25年の空き巣及び自転車盗の合計件数(201件)を基準とする。 前年犯罪件数より毎年3%づつ減少させる。3%(19年から21年の減少率平均)	計画値				533	517	501		
	実績値				471	573			
	年度				H27	H28	H29	計	
	計画値				200	195	190		
	実績値								
	年度				H30	H31	H32	計	
計画値				185	180	175			
実績値									

4-1. 評価

(1) 前年度に「4-2. 改善」欄に記入した内容に関する実施状況

H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》
H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》

(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】

- 《評価のポイント》 * 町が実施すべき事業か
 * 町が実施しない場合の影響は
 * 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は
 * 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	防犯意識を高め犯罪を抑制し、犯罪を発生させない環境づくりには、町、警察、関係団体が一体となって取り組む必要があるため。
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必然性が低い ため、改善が必要である	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではない ため、改善が必要である	

(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】

- 《評価のポイント》 * 事業は効率的に行われているか
 * コストの節減
 * 実施手法の改善
 * 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 適切である	防犯アドバイザーによる講話や防犯パトロールは、継続して実施することで、町民の防犯意識にも浸透していくため。
	<input type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善 する必要がある	

(4) 有効性【事業の達成度はどうか】

年度	評価区分	* 評価区分の別			
年度	評価区分	区分	事業効果指標 の達成状況	事業目標指標 の達成状況	分析内容
H24	B				
H25	E				
H26		A	指標の80%以上 を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H27		B	指標の80%以上 を達成している	指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H28		C	指標の80%以上 を達成している	指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H29		D	指標の80%以上 を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H30		E	指標の80%以上 を達成している	指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H31		F			その他特別な事情があるもの。
H32		Z			未着手

➡ **※ (2) (3) (4) の評価区分がD～Z の場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと**

4-2. 改善

H26	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》 平成25年の犯罪発生件数は昨年より102件増加してしまった。
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》 自転車盗、空き巣などの窃盗が増加傾向にあることから、現状に即した啓発を行う。
H30	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》

5. 財源

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
	163,600	3,739,583	3,081,000						
財源内訳									
分担金及び負担金	0	0	0						
使用料及び手数料	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0						
県支出金	0	0	0						
財産収入	0	0	0						
寄附金	0	0	0						
繰入金	0	0	0						
雑収入	0	0	0						
町債	0	0	0						
一般財源	163,600	3,739,583	3,081,000						

町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者(課等の長)	三木達夫		花山尚人						
担当課等名	学校教育課		学校教育課						
シート作成者	八ッ橋 美喜	尾畑浩司	尾畑浩司						

事業名	防犯対策推進事業（小学校）
------------	----------------------

後期基本計画記載状況	(有)・無								
後期基本計画(章)	安心して生きがいのあるまちづくり	実施計画コード	3333-05						
後期基本計画(節)	安心して暮らせるまちづくりを充実	予算科目コード	01	10	01	02	355	007	001
後期基本計画(項)	交通安全・防犯対策の充実	予算区分	(政策) 一般						

2. 事業内容

現状把握	
新入学児童、他市町村からの転入学児童に対して、防犯ブザーの貸与を行っている。防犯ブザーが壊れた場合、また電池が切れた時は各自で対応をお願いしている。また、学校や地域と連携しながら各小学校の通学路の安全監視を実施している。	
課題整理	
防犯ブザーの所持率は高学年になると低下している。子どもを取り巻く環境の安全が確保されたとは言いきれないというのが現状であり、今後も児童や保護者の意識を高めていく必要がある。	
事業目的	
児童や保護者の安心・安全に対する意識の高揚を図る。また、児童が不審者からの被害に遭いそうになった時、周囲に危険を知らせ、助けを求められるようにする。	
事業概要	
新入学児童に対する防犯ブザーの貸与や、通学路の安全監視など子どもの安心・安全を見守る地域の活動推進を通して、安心・安全に対する意識を高めるとともに注意を喚起し、登下校時の子ども達の安全確保を図る。	
根拠法令等	学校安全緊急アピール（文部科学省）他

3. 事業計画 及び 実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	●	●	●	●	●	●	●	●	●
事業目標					年度	H24	H25	H26	計
【H24～H26】 新入学児童及び他市町村からの転入学児童に対する防犯ブザー貸与率(%) 【H27から変更予定】 犯罪から身を守る意識の定着率(%)					計画値	100	100	100	
					実績値	100	100		
					年度	H27	H28	H29	計
					計画値	100	100	100	
					実績値				
					年度	H30	H31	H32	計
				計画値	100	100	100		
				実績値					
事業効果					年度	H24	H25	H26	計
町立小学校に通う児童の防犯ブザー所持率(%)					計画値	100	100	100	
					実績値	62	68		
					年度	H27	H28	H29	計
					計画値	100	100	100	
					実績値				
					年度	H30	H31	H32	計
				計画値	100	100	100		
				実績値					

4-1. 評価

(1) 前年度に『4-2. 改善』欄に記入した内容に関する実施状況

H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》
H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》

(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】

- 《評価のポイント》
- * 町が実施すべき事業か
 - * 町が実施しない場合の影響は
 - * 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は
 - * 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	町が小学生全員分の防犯ブザーを貸与することで、登下校における児童の安全確保の向上を図ることができている。町が防犯ブザーを購入し貸与しなければ、防犯ブザーを所持する児童はごく一部になると思われる。また、児童安全監視協力者用の消耗品を購入して使用してもらうことで、防犯に役立っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必然性が低い ため、改善が必要である	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではない ため、改善が必要である	

(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】

- 《評価のポイント》
- * 事業は効率的に行われているか
 - * コストの節減
 - * 実施手法の改善
 - * 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input type="checkbox"/> A: 適切である	児童が防犯ブザーを所持することの効果は、安全確保を図る上でかなり大きいと考えている。実際に、一之宮公園で防犯ブザーを鳴らし、難を逃れた事例がある。しかしながら、高学年になると携帯所持率が下がっている。携帯所持率の下がる原因を調べ、所持率が上がるよう改善の必要がある。また、児童安全監視協力者にメガホンや笛などを使用してもらうことで児童の安全を効率的に確保することができている。
	<input checked="" type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善 する必要がある	

(4) 有効性【事業の達成度はどうか】

年度	評価区分	* 評価区分の別			
年度	評価区分	区分	事業効果指標 の達成状況	事業目標指標 の達成状況	分析内容
H24	C	A	指標の80%以上 を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H25	C	B	指標の80%以上 を達成している	指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H26		C	指標の80%を 達成していない	指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H27		D	指標の80%を 達成していない	指標を未達成	効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H28		E	指標の80%を 達成していない	指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H29		F			その他特別な事情があるもの。
H30		Z			未着手
H31					
H32					

➡ **※ (2) (3) (4) の評価区分がD～Zの場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと**

4-2. 改善

H25	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》 ・ 1年生に入学したとき防犯ブザーを貸与していることから、低学年は携帯所持率が高い。しかし、高学年になると携帯所持率が下がってしまうことが課題である。
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》 ・ 高学年の所持率が下がってしまう原因を調べ、改善を図る。

5. 財源

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
	259,344	287,983	456,000						
財源内訳									
分担金及び負担金	0	0	0						
使用料及び手数料	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0						
県支出金	0	0	0						
財産収入	0	0	0						
寄附金	0	0	0						
繰入金	0	0	0						
諸収入	0	0	0						
町債	0	0	0						
一般財源	259,344	287,983	456,000						

町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者(課等の長)	小島研二		藤澤紀子						
担当課等名	福祉課	福祉課							
シート作成者	渡辺和宏	守屋ゆかり	亀井真由美						

事業名	保護司会活動支援事業
------------	-------------------

後期基本計画記載状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無								
後期基本計画(章)	安心して生きがいのあるまちづくり	実施計画コード	3333-06						
後期基本計画(節)	安心して暮らせるまちづくりを充実します	予算科目コード	01	03	01	01	155	011	001
後期基本計画(項)	交通安全・防犯対策の充実	予算区分	政策一般						

2. 事業内容

現状把握	社会を明るくする運動や薬物キャンペーンや学校との連携など、さまざまな活動を行っているが、無報酬のため活動するにあたり、活動費が必要。
課題整理	保護司になるには①人格及び行動について、社会的信望を有すること。②職務の遂行に必要な熱意及び時間的余裕を有すること。③生活が安定していること。④健康で活動力を有すること。など条件があり、なり手がいない。
事業目的	保護司会員の研修や社会を明るくする運動、更生保護活動、犯罪予防活動を推進する社会福祉団体へ助成し、社会福祉の増進を図る。
事業概要	社会福祉の増進を図るため、茅ヶ崎地区保護司会、寒川地域保護推進会へ補助金を交付し、保護司会員の研修や社会を明るくする運動、更生保護活動、犯罪予防活動を支援する。
根拠法令等	寒川町社会福祉団体補助金交付要綱・保護司法

3. 事業計画及び実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
事業目標										
団体補助件数(件)	年度	H24	H25	H26	計					
	計画値	2	2	2						
	実績値	2	2							
	年度	H27	H28	H29	計					
	計画値	2	2	2						
	実績値									
事業効果	年度	H24	H25	H26	計					
	研修等活動回数(回)	計画値	2	2	2					
	(事業報告書に記載されている回数)	実績値	2	2						
	年度	H27	H28	H29	計					
	計画値	2	3	4						
	実績値									
年度	H30	H31	H32	計						
計画値	2	2	2							
実績値										

4-1. 評価

(1) 前年度に「4-2. 改善」欄に記入した内容に関する実施状況

H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》
H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》

(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】

- 《評価のポイント》
- * 町が実施すべき事業か
 - * 町が実施しない場合の影響は
 - * 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は
 - * 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	保護司法第17条により「地方公共団体は、保護司、保護司会及び保護司会連合会の活動が、犯罪をした者及び非行のある少年の改善更生を助けるとともに犯罪を予防し、地域社会の安全及び住民福祉の向上に寄与するものであることにかんがみ、その地域において行われる保護司、保護司会及び保護司会連合会の活動に対して必要な協力をすることができる。」とあり犯罪をした者及び非行のある少年の改善更生を助ける必要があることから町が行ったほうがよい。
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必然性が低い	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではないため、改善が必要である	

(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】

- 《評価のポイント》
- * 事業は効率的に行われているか
 - * コストの節減
 - * 実施手法の改善
 - * 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 適切である	毎年提出されている事業計画や事業報告から事業は適正かつ効率的に実施されている。
	<input type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善する必要がある	

(4) 有効性【事業の達成度はどうか】

年度	評価区分	* 評価区分の別			
		区分	事業効果指標の達成状況	事業目標指標の達成状況	分析内容
H24	A	A	指標の80%以上を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H25	A	B	指標の80%以上を達成している	指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H26		C	指標の80%を達成していない	指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H27		D	指標の80%を達成していない	指標を達成	効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H28		E	指標の80%を達成していない	指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H29		F			その他特別な事情があるもの。
H30		Z			未着手
H31					
H32					

※ (2) (3) (4) の評価区分がD～Zの場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと

4-2. 改善

H○	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》
H○	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》

5. 財源

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
	83,700	83,700	85,000						
財源内訳									
分担金及び負担金	0	0	0						
使用料及び手数料	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0						
県支出金	0	0	0						
財産収入	0	0	0						
寄附金	0	0	0						
繰入金	0	0	0						
諸収入	0	0	0						
町債	0	0	0						
一般財源	83,700	83,700	85,000						